

ディボーション質問表



2月28日（日）先週一週間のディボーションをふり返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かしたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

1日（月）テサロニケ人への手紙第一 1：1～10

ギリシャ文明衰退後のテサロニケの町は、さまざまな偶像と低い道徳観、倒錯した性の蔓延に満ちていました。現代の文明社会とよく似ていたわけです。そのような中でも、神の基準にもとづいた清い生活をおくる彼らをパウロは励ましています。（紀元51年頃、コリント〔使徒18章〕で書かれた。コリント教会はパウロの第2回伝道旅行の時に出来た教会〔使徒17章〕です。）

1. 現代日本とよく似たテサロニケの社会にはどんな誘惑があったと想像されますか？
2. 福音はことばによらず、何によって伝えられましたか。受ける側、語る側を注意深く探ってみましょう。私たちが日常どんなときにそれを実践できるでしょうか（1～5節）。
3. 生活レベルにおいてあなたがテサロニケの信者から見習うべき点は何でしょうか（6～8節）。

2日（火）テサロニケ人への手紙第一 2：1～20

ここではパウロが霊の親として、テサロニケ人に語りかけています。

1. 働き人としてのパウロの基本的な心構えを発見しましょう（1～6節）。
2. パウロの母親的な対応を発見しましょう（7～10節）。
3. パウロの父親的な対応を発見しましょう（11～13節）。
4. ユダヤ人と同じ様な失敗を自分たちもしていないか、黙想してみましょう（14～20節）。

3日（水）テサロニケ人への手紙第一 3：1～13

1. 苦難は私たちにどのように定められていますか？ テサロニケの人々は苦難に対しどう対応したでしょうか？ パウロはどのように対応していますか（1～10節）？
2. 11～13節にパウロのとりなす言葉があります。私のためにだれかがこのように祈ってくれているのなら、愛を増し、心を強くし、聖く生きるわたしの一日はどのようなものでしょうか？ 今日出来る実践を書いてみましょう。

4日（木）テサロニケ人への手紙第一 4：1～12

1. 神のみこころは何ですか？ あなたの社会生活にあてはめるとどのようなことになりますか（1～8節）？
2. パウロの勧める「兄弟愛のある生活」はどのようなものでしょうか（9～12節）？

5日（金）テサロニケ人への手紙第一 4：13～5：11

1. 死後のことについて書かれています。死後についてのこのような真実は、あなたの今日の一日をどのような影響をもたらすでしょうか？

6日（土）テサロニケ人への手紙第一 5：12～28

1. あなたの周りの人たちにどのように接したら良いでしょうか（12～15、25～28節）？
2. 17～18節を暗唱してみましょう
3. 19～24節にあなたのからだをたましいと霊を守る秘訣が載っています。何でしょうか？